



第 35 回例会報告(3月24日)

【出席報告】

・会員数	53名	・出席数	36名	・欠席数	17名
・当日出席率	79.06%	・前々回修正出席率	87.75%		

<欠席会員> 藤田、檜垣(巧)、飯、冠、桑森、越智(務)、竹田、藤堂、吉武
〔免除会員〕青野、原田、松本、宮本、村上、野間、白石、八木

<3/10 欠席補填>(2/26IM)冠、重松 (3/5DTTS)松木 (3/8 新居浜南)村上(裕)、吉田 (3/11IAC)藤田
(3/14 今治北)菅

会長報告・4月16日、17日に開催予定の地区大会は東日本大震災の為、内容を縮小して開催することとなりました。ご参加を予定していた皆様には誠に申し訳ございません。

・ガバナー事務所より依頼のありました東日本大震災義援金は、皆様からの義援金と特別会計を合わせて200万円を送りたいと考えております。

幹事報告・次週3月31日(木)は清掃奉仕・早朝例会です。早朝6:30より吹上公園を清掃開始、7:00例会を吹上神社寿殿にて開催いたします。芋粥等、朝食をご用意しております。雨天の場合は例会のみ開催となります。ロータリーバッジ着用をお願いいたします。

・国際ソロプチミスト今治よりチャリティーコンサート開催のご案内が来ております。また、チケットを10枚いただいておりますのでご希望の方は事務局までお知らせ下さい。

親睦活動委員会・親睦ゴルフ同好会・4月24日(日)に第3回今治RC親睦ゴルフ大開を今治カントリークラブにて開催いたします。午前10時25分スタートです。

米山記念奨学委員会アワー

元米山記念奨学生 馮俊様:松山大学で非常勤講師をしています。担当は金融比較システム論です。中国の経済、今後の人民元の見通しや展望、金融の国際化、資本の自由化等について研究しています。中国国民の一番の関心は不動産バブルについてです。これからまだ伸び続けるのか、いつピークアウトするのかが議論の対象です。今の中国で100平米のマンション価格は、一般サラリーマンの年間給与の19年分です。いつバブルは崩壊するのかを考える時、日本やアメリカの経験を見ると、バブルの期間は6年くらいが一つのサイクルだと言えます。その事を参考に中国をみると、2010年くらいにバブルは終わるはずでした。2009年から2010年の月毎のデータを見てみると、2010年4月頃にピークアウトしたのではないかと予想することができますが、もう少し様子を見る必要があります。中国国民は、バブルが崩壊しない人(楽観論)と、崩壊する人(悲観論)の2種類に分かれます。楽観論の理由は、政府がなんとかしてくれるだろう(救済策の実施) 不動産価格は高すぎるとはいえない。悲観論の理由は、不動産は既に投機の対象になっている。現在の価格は適切な水準にあるとは言い難い。私の考えは、崩壊しないバブルは存在しません。何より重要なことはソフトランディングさせるように適切な政策をとることだと思います。2010年以降政府も様々な対策をとっていますが、政府のコントロールが効かないところまでできています。しかし、中国の需要を考えると、中国では結婚をする際、マイホーム持っているか、今後購入する事ができるかが大きな条件となっています。男子の親が用意するのが一般的です。また、不動産の耐久年数は日本より短く、最近建ったマンションで手抜き工事がなければ25年くらいではないでしょうか。不動産価格が下がる時に、購入する人が増えれば暴落を防ぐことができるかもしれません。中国バブルが崩壊する場合の日本経済への影響は、貿易、観光業、証券市場など多くの産業に及びます。証券市場では、不動産分野だけではなく中国マーケットで活躍する日本企業も大きな危機に直面することになるでしょう。今後の中国経済の動きにご注目ください。



<ゲスト> 元米山記念奨学生 馮俊さん

次回例会(3月31日)

【清掃奉仕・早朝例会】

日時: 3月31日(木) 早朝6:30清掃開始、7:00より例会

場所: 吹揚公園

例会後は、芋粥とお茶をご用意しております。

雨天の場合は7:00より例会のみ開催。当日はロータリーバッジの着用をお願いいたします。

{ 俵屋 }